

令和7年度

大竹市防災セミナー

広島県自主防災アドバイザー
防災士 柳迫長三



地域防災リーダーとして

あなた自身の生命は大丈夫！ですか？

1. 連絡網の確認
2. 要支援者の確認
3. 地域を知る(町歩きとマップ作り)
4. 役員同士のコミュニケーション
5. 防災資機材の確認



地域防災リーダーとして

- 豪雨災害と南海地震
- 避難所開設と運営
スフィア基準について

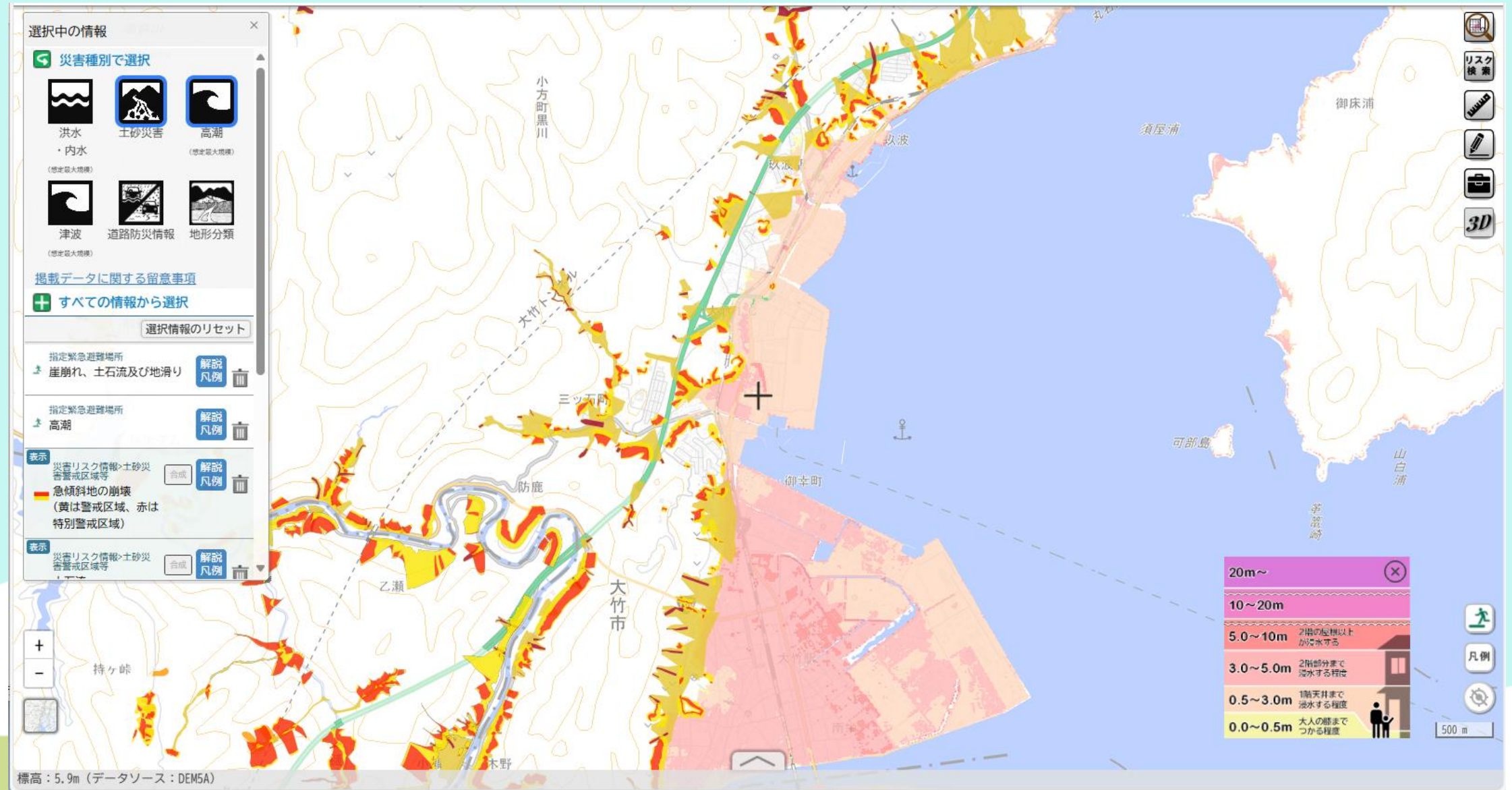


豪 雨 災 害

1. ハザードマップや避難場所の確認
2. 溝や雨どいの清掃
3. 土嚢や水嚢の用意
4. 非常用グッズの確認
5. 急な天候の変化に注意

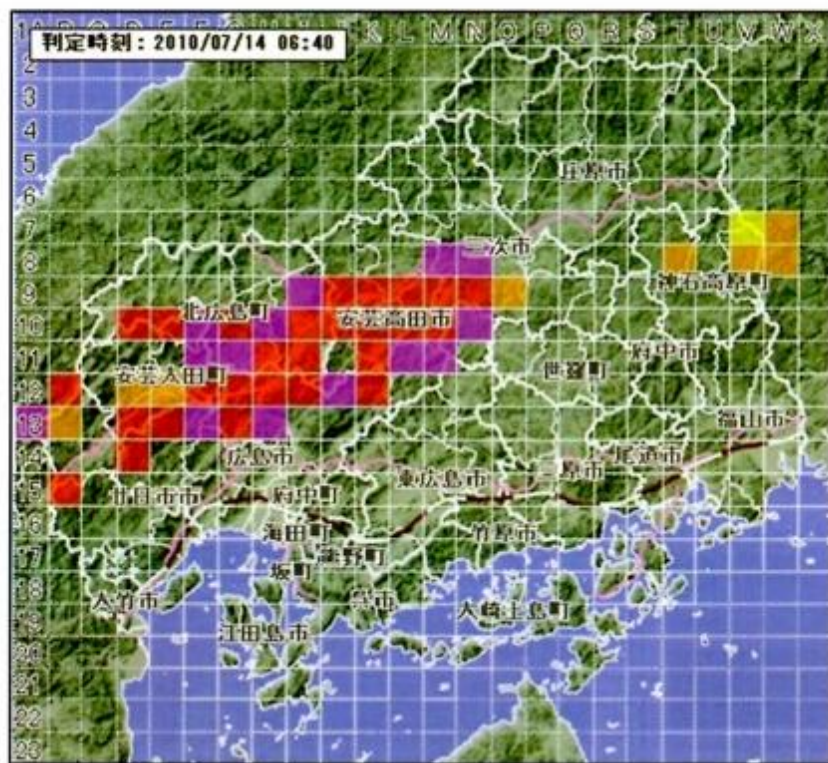


重ねるハザードマップ(国土交通省)

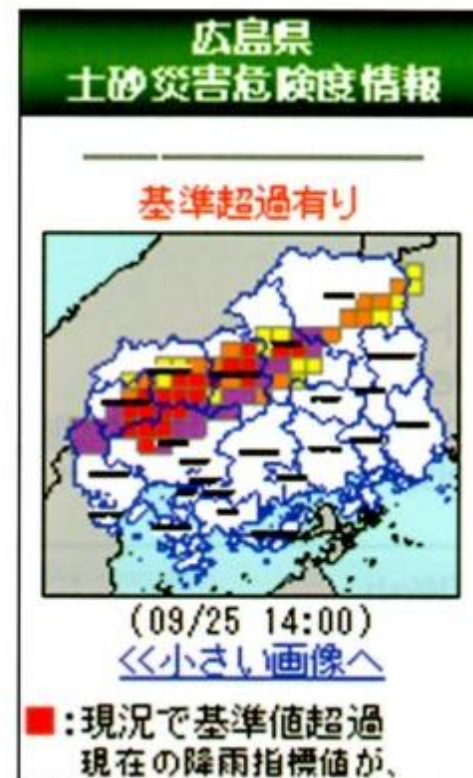


土砂災害危険度情報を活用しましょう

土砂災害警戒情報を補足する詳細な
5kmメッシュ毎の情報を提供しています



土砂災害危険度情報画面例



携帯電話での表示例

- (赤) 現在の降雨指標が、土砂災害発生を目安となる値に到達した状態
- (ピノク) 今後1時間以内に土砂災害発生を目安となる値に到達すると予測される状態
- (オレンジ) 今後2時間以内に土砂災害発生を目安となる値に到達すると予測される状態
- (黄) 今後3時間以内に土砂災害発生を目安となる値に到達すると予測される状態

令和3年5月20日から

避難指示で必ず避難 避難勧告は廃止です

警戒レベル
4

ひなんしじ

避難指示

ひなんかんこく

避難勧告

警戒レベル

5	 災害発生 又は迫り	新たな避難情報等 緊急安全確保※1
～～＜警戒レベル4までに必ず避難！＞～～		
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ 避難指示※2
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難※3
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後の悪化に 警戒が必要	早期注意情報 (気象庁)

これまでの避難情報等

災害発生情報 (発生を確認したときに発令)
・避難指示(緊急) ・避難勧告
避難準備・ 高齢者等避難開始
大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
早期注意情報 (気象庁)

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、
すでに安全な避難ができず
命が危険な状況です。
**警戒レベル5緊急安全確保の
発令を待ってはいけません！**

避難勧告は廃止されます。
これからは、
**警戒レベル4避難指示で
危険な場所から全員避難
しましょう。**

避難に時間のかかる
高齢者や障害のある人は、
**警戒レベル3高齢者等避難で
危険な場所から避難
しましょう。**

内閣府(防災担当)・消防庁

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報（土砂災害）に切り替える可能性が高い注意報は、高齢者等は危険な場所からの避難が必要とされる警戒レベル3に相当します。

※2 警報に切り替える可能性については、市町村ごとの警報・注意報のページで確認できます。

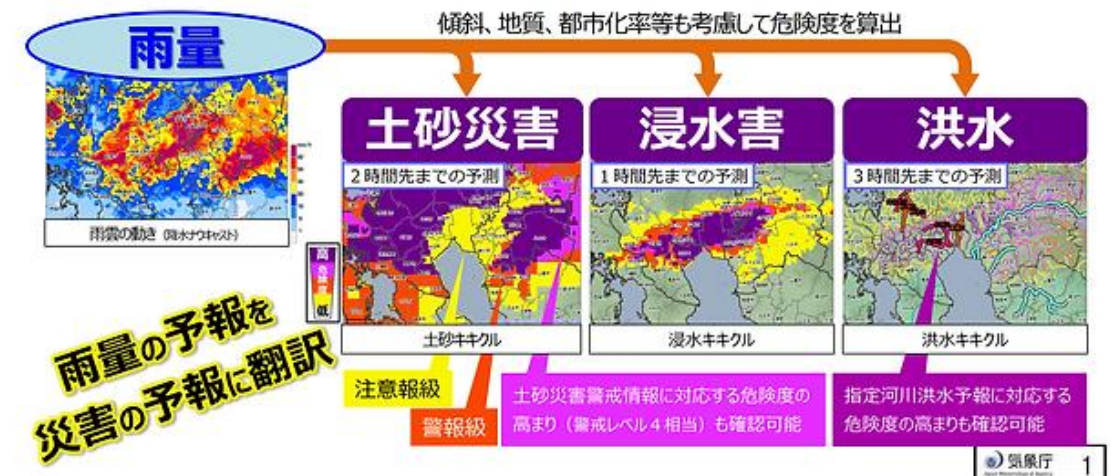
キキクル

キキクルでは、強い雨が降ってきたときに土砂災害、浸水害、洪水災害など、災害が起こる危険度をマップ上の「色」で確認できます。また、リアルタイムだけでなく、数時間先まで危険度が予測されるため、避難の必要性を判断するのに役立ちます。予測できる時間は下記の通りです。

- ・土砂キキクル＝2時間先まで
- ・浸水キキクル＝1時間先まで
- ・洪水キキクル＝3時間先まで

キキクルは過去20年以上の災害データを基に「この基準を超えると、過去の重大な土砂災害の発生時に匹敵する極めて危険な状況となり、この段階では命に危険が及ぶような土砂災害がすでに発生しているにもかかわらず」という基準を設定し、避難にかかる時間を考慮して2時間先までに基準に到達すると予測された時点で情報を発信しているため、「警戒レベル4」相当の土砂災害警戒情報が発表されたり、土砂キキクルで「非常に危険」（うす紫色）が出現したりした時点で避難が必要とされています。

色が持つ意味	住民等の行動の例※1	内閣府のガイドラインで発令の目安とされる避難情報	相当する警戒レベル※2
極めて危険	《命に危険が及ぶ土砂災害がすでに発生しているにもかかわらず、この段階の前に避難を完了しておく。》	—※3	—
非常に危険	速やかに土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ避難する。	避難指示	4相当
警戒	土砂災害警戒区域等の外の少しでも安全な場所へ避難する。 高齢者等は速やかに避難する。	高齢者等避難	3相当
注意	ハザードマップ等により避難行動を確認する。 今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	2相当
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—



今いる場所の大雨災害の危険度を把握しましょう

危険度分布（キキクル）は大雨災害の危険度の高まりを地図上に色分けします。



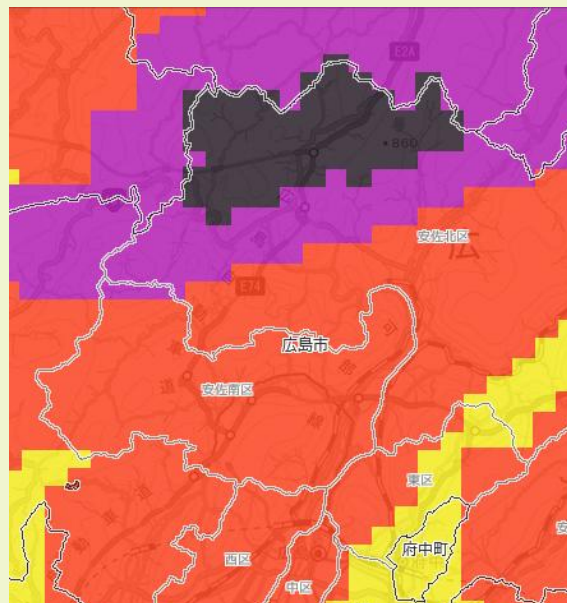
災害切迫

危険

警戒

注意

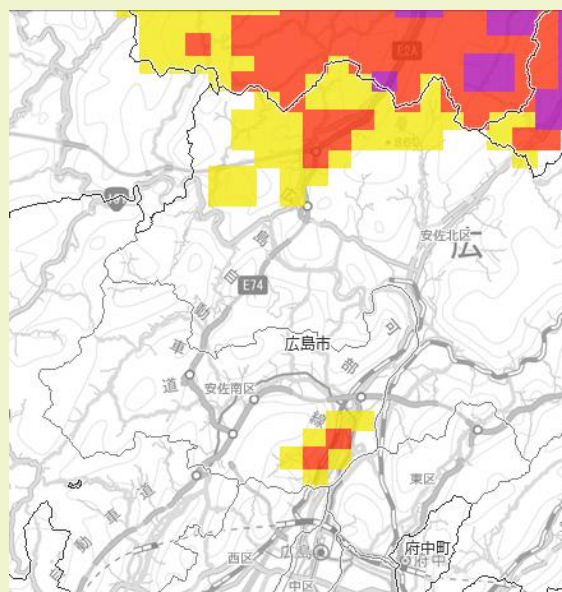
キキクル：危険度分布の愛称、危険度分布を活用いただくため愛称を公募しました。



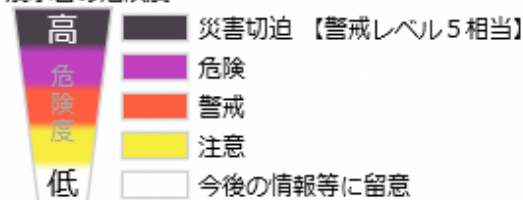
土砂災害の危険度



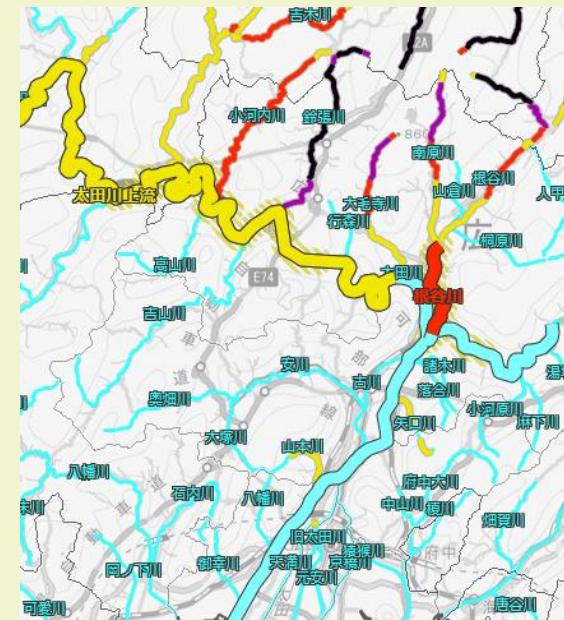
土砂災害の危険度
2時間先までの予想を含む



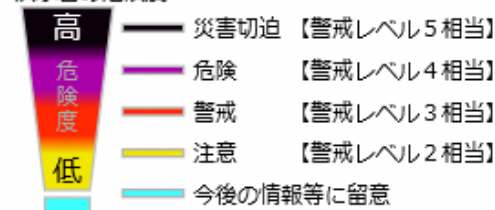
浸水害の危険度



浸水の危険度
1時間先までの予想を含む



洪水害の危険度



洪水の危険度
3時間先までの予想を含む

表示している危険度の配色（黒、紫）は令和4年6月30日に運用開始するイメージであり、現時点（5/29）の配色とは異なります。



土石流につながる雨の降り方

(ある程度の先行降雨とそれに続く強雨)

県南部の花崗岩地質の分布地域では・・・

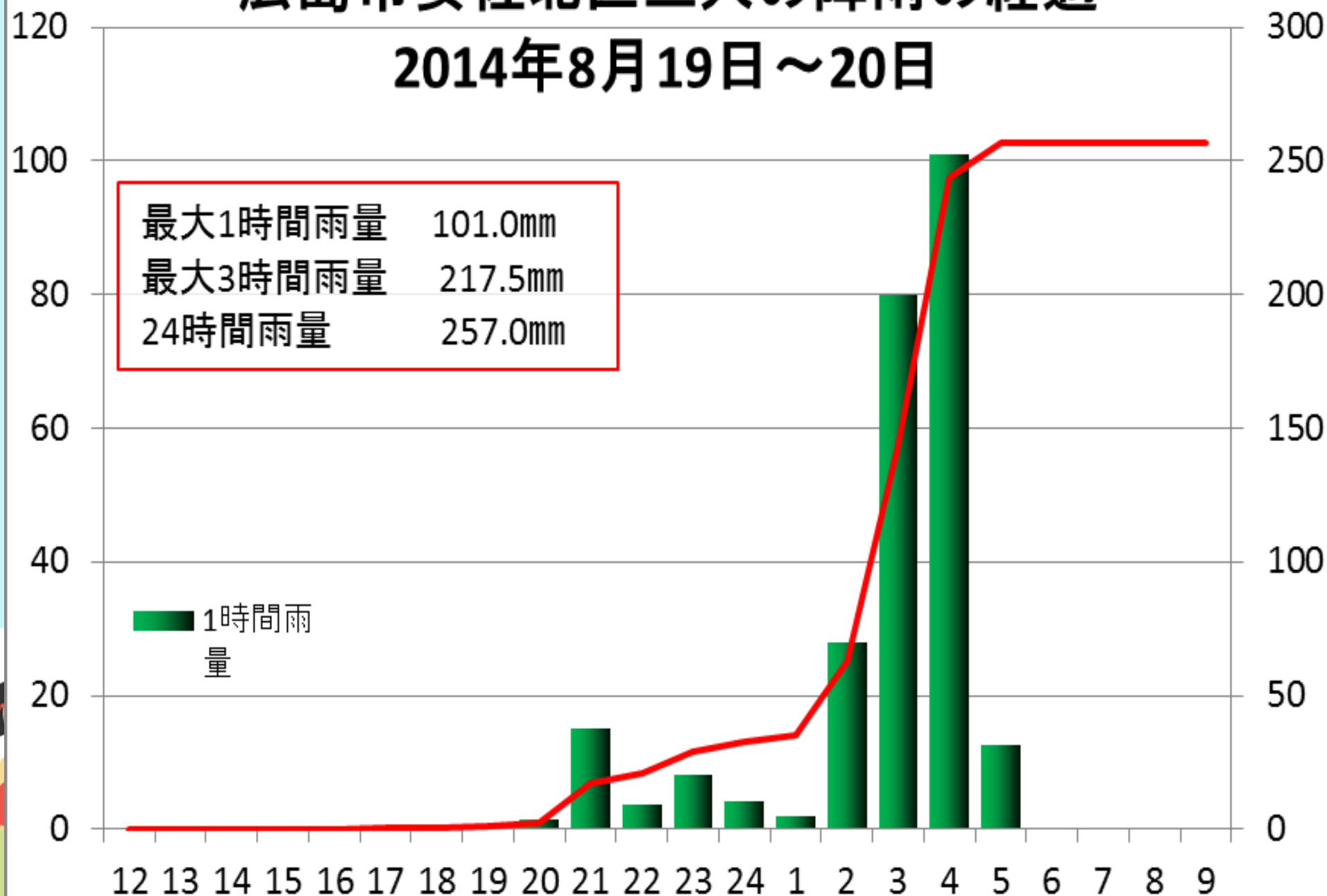
1 0 0 mm を超えると崩壊が増え始め、
その後 **3 0 mm～5 0 mm** /h 前後の
強雨で集中的に発生する。

参考：広島大学大学院総合科学研究科
海堀正博教授



広島市安佐北区三入の降雨の経過

2014年8月19日～20日



被災者の避難行動

被災者71人の避難行動の内訳

① 自宅待機～23人

② 自宅上階避難～17人

③ 自宅2階待機～9人

④ 自宅外避難～22人

約7割は自宅内待機・避難



災害の危険性の認識と判断材料

「生木の匂いがしてきたと思ったら「ズズズズズズ」「ガッガッガ」と何かが建物を擦る音が響いた。電気は付かず、ガス漏れかと台所を確認。
(70代女性、八木3)

異変に気付いた要因

①音(雷鳴・雨音・ガラスが割れる音など)～17人

②水(泥水・水の濁り・流量)～11人

③土砂(土砂の住宅内や庭へ流入)～8人

④揺れ、雷雨～2人

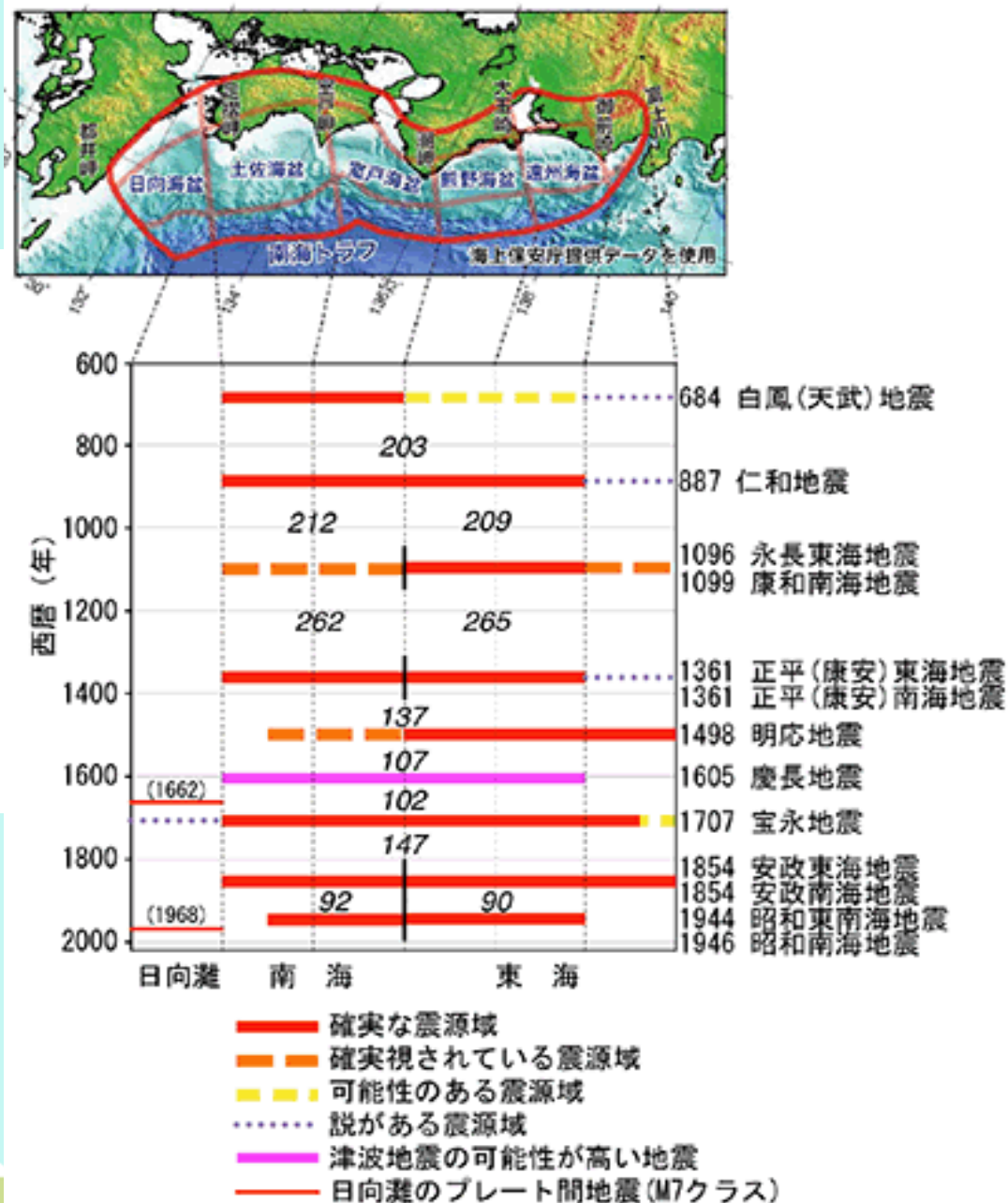
⑤臭い・川の様子・友人からの電話～1人



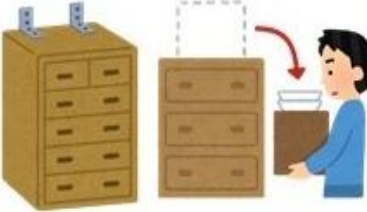
地震災害の発生確率

- 将来の地震発生の可能性 地震の規模 :
M8～M9クラス
地震発生確率: 30年以内に、80%程度
地震後経過率: 0.90
平均発生間隔: 88.2年

南海トラフ全体を1つの領域として考え、この領域では大局的に100～200年で繰り返し地震が起きていると仮定して、地震発生の可能性を評価しました。



慌てず、身の安全を守ってから！

非常持ち出し品を準備する 	避難所を確認する 	家具を固定し、重いものや割れ物は低いところへ 
食料・水を備蓄する 	簡易トイレを準備する 	寝室に靴やメガネ、非常持ち出し品を置いておく 

緊急地震速報 利用の心得

緊急地震速報を見聞きしたら…
(地震の揺れを感じなくても)

あわてず、
まず身の安全を!!

地震の揺れを感じたら…
(緊急地震速報がなくても)

周囲の状況に応じて

家庭では

- 頭を保護し、じょうぶな机の下など安全な場所に避難する
- あわてて外へ飛び出さない
- むりに火を消そうとしない



鉄道・バスでは

- つり革、手すりにしっかりつかまる



エレベーターでは

- 最寄りの階に停止させ、すぐにおりる



屋外(街)では

- ブロック塀の倒壊に注意
- 看板や割れたガラスの落下に注意



自動車運転中は

- 急ブレーキはかけずゆるやかに速度をおとす
- ハザードランプを点灯し、まわりの車に注意をうながす



緊急地震速報

上記のほか、訪れた施設等において緊急地震速報を見聞きした時は、身を守り、係員の指示に従ってください。

地震災害

- 1, 非常用持ち出しバッグの準備
- 2, 防災知識を身に着ける
- 3, 家具・家電の固定
- 4, ガラスの飛散防止フィルムの取付け
- 5, 避難場所や経路の確認の確認
- 6, 安否確認方法の共有（無事タオルやラインなど）
- 7, 自宅周囲の危険個所の確認
- 8, 防災訓練へ参加



被害認定調査・罹災証明書

市町村長は、当該市町村の地域に係る災害が発生した場合において、当該災害の被災者から申請があつたときは、遅滞なく、住家の被害その他当該市町村長が定める種類の被害の状況を調査し、当該災害による被害の程度を証明する書面（第4項において「罹災証明書」という。）を交付しなければならない。（災害対策基本法第90条の2第1項）

罹災証明書は、各種被災者支援策※の適用の判断材料として幅広く活用されている。

- ※各種被災者支援策 給 付 : 被災者生活再建支援金、義援金 等
- 融 資 : (独)住宅金融支援機構融資、災害援護資金 等
- 減免・猶予 : 税、保険料、公共料金 等
- 現物給付 : 災害救助法に基づく応急仮設住宅の供与、住宅の応急修理制度 等

＜被災から支援措置の活用までの流れ＞



※ 罹災証明書の統一様式

罹 災 証 明 書

申請者住所: _____

申請者氏名: _____

(住所記号等) _____

罹災年月: 年 月 日

被災状況の調査結果: _____

被害の程度: _____

(住所記号等) _____

上記のとおり、罹災証明書として交付いたします。

年 月 日

〇〇市町村長

各種被災者支援策の活用



地震

各地で相次ぐ 北海道は大丈夫？

今月は震度4以上17回 関連は

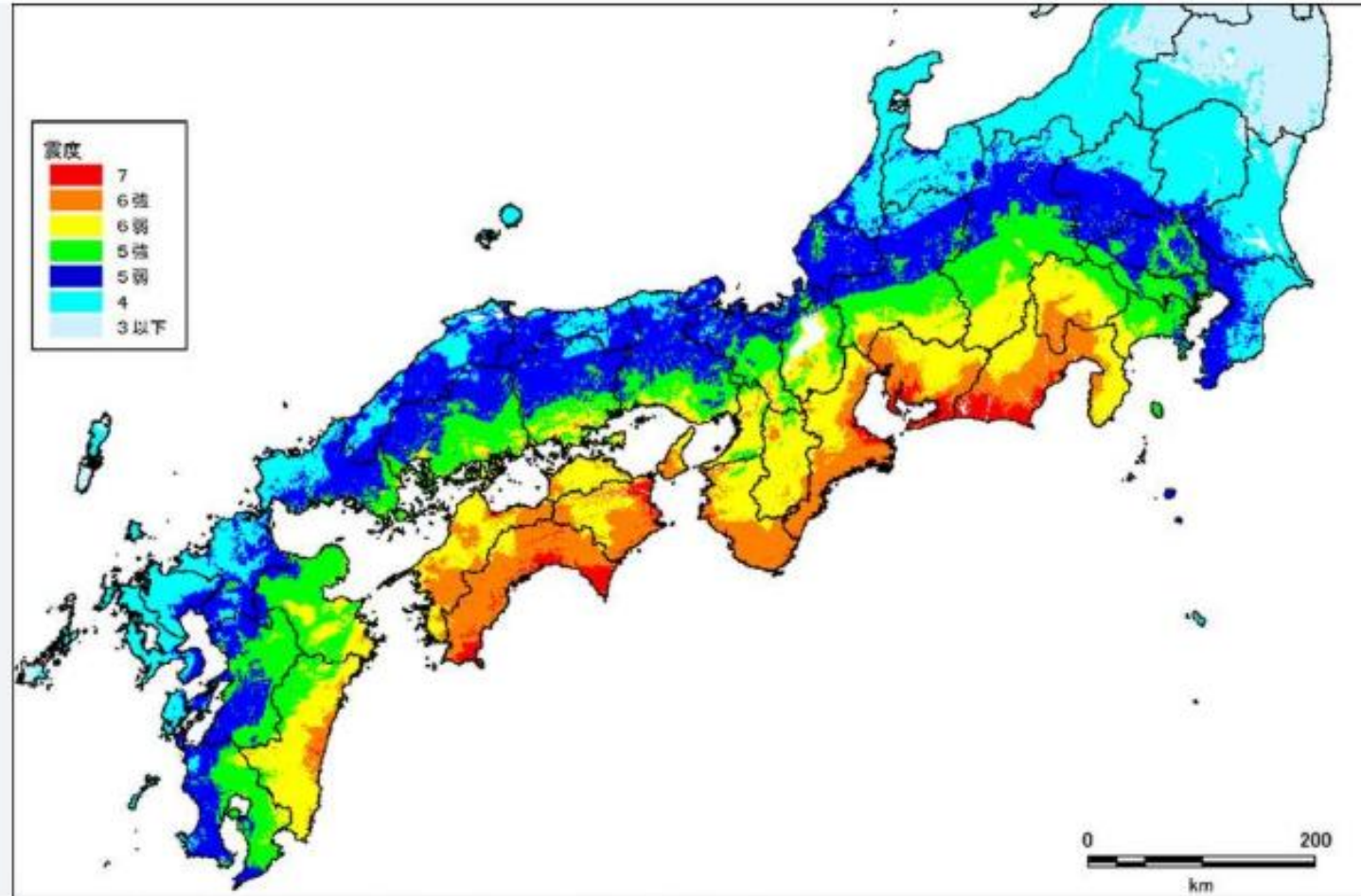
主な震度4以上の地震(今月)



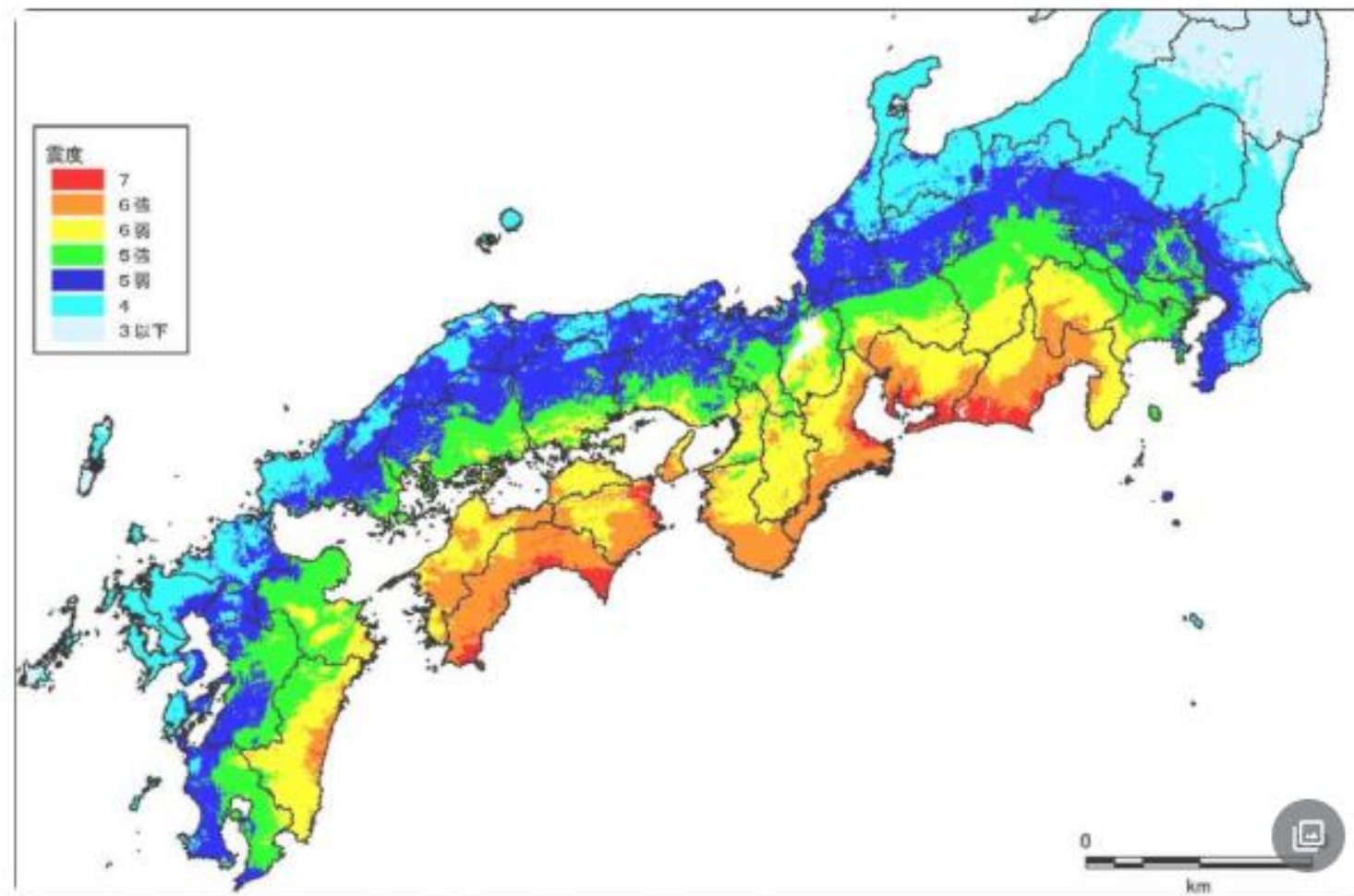
【徹底解説】南海トラフ巨大地震 死者29万超の"新"被害想定を公表 どう見れば良い？関係者の思いとは？

0テレ

2025年3月31日 11:16

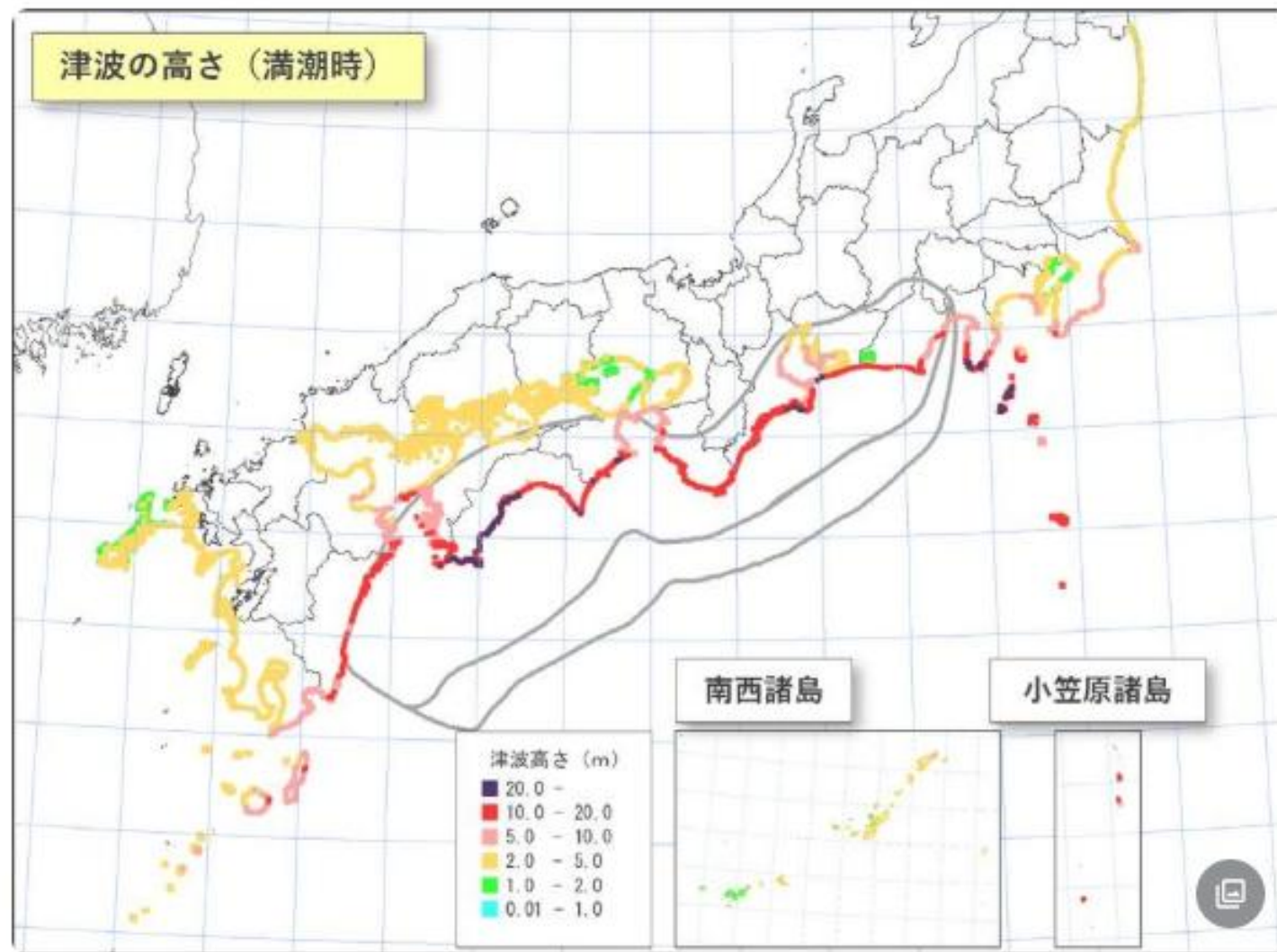


■南海トラフの"新"被害想定、死者は29万8000人に



南海トラフ巨大地震対策検討WGの報告書より





南海トラフ巨大地震対策検討WGの報告書より



その被害は、最悪のケースで、

▼死者:約29万8000人（うち津波による死者は7割にあたる21万5000人）

▼建物の被害:約235万棟

に及ぶとしました。

ライフラインや、経済における厳しい状況も明らかになりました。

▼人口の1割にあたる、約1230万人が避難を強いられる

▼食糧が不足し、3日間で約1990万食が足りなくなる

▼経済被害は合計で270.3兆円

このように「これまでに経験したことのない超広域かつ甚大な被害」が発生するとしています。



耐震基準かどうかの判断は？

①建築確認申請日を見る

1981年6月1日以降に建築確認を受けた建物は、新耐震基準が適用されています。

②不動産会社に確認する

不動産会社や管理会社へ直接、耐震基準に適合しているか確認する。

③耐震診断や証明書を確認する。

新耐震でも築年数が古ければ補強が必要です。

項目	旧耐震基準（1981年5月以前）	新耐震基準（1981年6月以降）
想定される地震規模	震度5程度	震度6強～7
設計目的	小・中規模地震で倒壊しない	大地震でも倒壊しない
対象建築物	多くの築古ビル	現在の新築・改修物件の大半

旧基準では、大地震時に倒壊リスクが残る可能性があり、**新耐震基準に適合しているかどうか**が安全面での分かれ目になります。



一般住宅



数百年に一度発生する地震の地震力に対して倒壊、崩壊せず、数年に一度発生する地震の地震力に対して損傷しない程度。

学校などの
避難所レベル



耐震等級1で想定される
1.25倍の地震が起きても
倒壊・崩壊しない

消防署などの
防災拠点レベル



耐震等級1で想定される
1.5倍の地震が起きても
倒壊・崩壊しない



スフィア基準

災害発生後の避難所で確保すべき生活環境を指標として定めた国際基準「スフィア基準」が注目を集めています。

石破茂首相が11月の臨時国会の所信表明演説で「発災後、早急に全ての避難所で（同基準を）満たすことができるよう事前防災を進める」と表明。

政府は同基準を参考に避難所運営に関する自治体向け指針を今年度内に改定する方針です。

スフィア基準の正式名称は「**人道憲章と人道対応に関する最低基準**」。



ま と め

「自助」・「共助」・「公助」

- ◇ 自分の身は自分で守りましょう
- ◇ 地域で協力して防災力の向上を目指しましょう

自主防災会は、未加入者に対し、防災情報の伝達や救援物資の配布、避難場所の運営など重要な任務があることを理解していただき、加入していただくよう推進しましょう

